

令和6年度

「運営に関する計画」

大阪市立愛珠幼稚園

令和6年4月

大阪市立愛珠幼稚園 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

子どもを取り巻く様々な様々な今般の状況から、引き続き、「新しい生活様式」を取り入れた園運営に取組み、教育活動を工夫し、幼児期の学びを保障することが重要である。指導にあたっては、幼稚園教育要領、就学前教育カリキュラム等を踏まえ、日々、実態に沿った見通しのある教育活動を展開すること、状況に応じて、適宜、活動の精選や実施時期の変更等、見直しを図り、幼児の負担とならないよう柔軟に対応すること等が必要である。

○これまでから、防災教育、防犯、交通安全、園内での安全な行動等、いろいろな安全教育に取り組んできており、安全・安心な教育環境の実現の重要性を認識している。地域は、高層ビルや高層マンションが建ち並び、周辺の道路は交通量が多い。園舎の構造上、各保育室等の引き戸、窓等にはガラスが多く使われており、廊下も長い。防災・減災教育の観点を踏まえると、今後も、安全・安心のための行動の仕方を知る、自分から危険を回避しようとする意識や態度が芽生えるように、これらの取組を総合的・計画的・継続的に行っていくことが必要である。

○園児の9割以上は、高層住宅に住んでおり、核家族で家族構成が限られているなど、家族以外の人と接したり、同年代の子どもとふれ合ったりする経験が少ない。幼稚園は子どもたちが初めて経験する社会生活の場である。先のような実態から、友達や教師等、身近な人との関わりの中で、優しさや愛情、思いやり等の気持ちを育んだり、社会生活に必要な約束やきまり等を知り、守ろうとしたりすることができるような取組を継続的に行うことで、幼児期にふさわしい、道徳心や規範意識、社会性を育むにことにつながると考える。

○これまで、様々な表現活動を楽しめるように、興味や関心をもって意欲的に活動するための指導法を工夫してきたことにより、その子どもなりの表現を楽しむようになってきた。発見や気づき、考えたり、工夫したりなど、表現を楽しむ中で、様々な学びがある。引き続き、思いを自分なりに表現することを楽しめるように支えていきたい。幼児期の教育で培った学びを小学校教育へと円滑につないでいくことが求められている中、遊びを通して、幼児期にふさわしい学びが育まれるように、存分に思いを表現するための指導や環境の工夫を行い、保護者並びに小学校関係者等への取組の理解のため、情報発信も必要と考える。また、発信方法、情報内容の工夫をすることで、家庭教育の支援、地域の子育て世代への支援にもつながると考える。

○本園は交通量の多い道路や高層ビルに囲まれ、近隣で存分に体を動かす環境が少ない。移動手段も車や自転車等が中心で、高層住宅に住んでいる子どもの多くは、日頃から階段を登り降りする経験が少ない。加えて、コロナ禍により、感染症対策のため、これまで室内で過ごすことも多かったことから、基礎体力の向上、しなやかな体づくりへの取組は必要である。したがって、進んで体を動かして遊ぶことから、体力の基礎の向上やバランス感覚等が養えるよう、指導方法、園庭や遊戯室等の環境の工夫、機会を捉え、地域の環境を活用する等の取組を進めていく。

○子どもが園生活で存分に遊ぶためには、一人一人が健やかであることが必要である。一人一人の健康保持・推進のためには、食事や睡眠、排泄等の習慣に興味や関心をもって取り組めるようにする等、健康な生活に必要な基本的な生活習慣を身に付けていけるように指導を工夫すること

が必要であると考え。並びに、子どもが健やかに育っていくためには、家庭との連携は欠かせないことから、取組への理解・協力のために、周知や情報発信等についても継続的に行っていく。

- 「学校園における働き方改革推進プラン」が策定されており、幼稚園現場においても教職員の負担軽減に向けた取組が進められている。本園においても、長時間勤務の解消や事務の効率化に向け、夏季休業期間等、長期休業期間中における閉庁日等の設定と継続実施、令和4年度より市立幼稚園で運用が開始された、校務支援システム（SKIP ポータル）校務機能・帳票導入・新ホームページ等、幼稚園における ICT を活用した効率的な業務の実施を目指すことが求められる。
- 自園の特色ある教育活動を行っていくためには、教職員が取組の方向性を共有し、連携しながら教育活動を進めていくこと、教職員それぞれが研鑽を積み、一層の実践力を身に付けていくこと等は、欠かせない。したがって、これら教職員の質の向上につながる取組として、専門的な知識・技能の習得の機会を設ける、教員の資質の向上に関する指標を活用し、キャリアステージに対応させながら、定期的に自己分析を行う等し、一層の資質の向上につながる取組を進めていく。
- 地域の現状として、核家族で集合住宅、高層マンション等に住む子育て世代が多く、子育て世代同士のコミュニケーションをとる機会が少ない。加えて、コロナ禍において、未就園児同士が日頃から関わり合う機会も少ない。幼稚園は地域の子育て支援センター的な役割を果たすため、幼稚園教育への理解・推進とともに、家庭教育や地域の子育ての支援となるよう、写真や情報誌、幼稚園における ICT としてホームページ等を活用しながら、特色ある取組の発信をすることが求められると考える。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 保護者アンケートで、「幼稚園は、生活の中で安全に過ごそうとする意識や習慣が身に付くように指導や環境の工夫をしている」ことについて、「そう思う」の割合を毎年、60%以上にする。
(1-6 安全教育の推進)
- 保護者アンケートで、「幼稚園は、社会生活に必要な基本的な態度や習慣が身に付くように指導や環境の工夫をしている」ことについて、「そう思う」の割合を毎年、50%以上にする。
(2-1 道徳教育の推進)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 保護者アンケートで、「子どもは、様々な体験を通して、自分なりに思いを表現することを楽しんでいる」ことについて、「そう思う」の割合を毎年、60%以上にする。
(3-1 就学前教育カリキュラム等に基づいた教育の推進)
- 保護者アンケートで、「子どもは、園生活の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを感じている」ことについて、「そう思う」の割合を毎年、70%以上にする。
(5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進)
- 保護者アンケートで、「子どもは、基本的生活習慣が身に付いてきている」ことについて、「そう思う」の割合を毎年、50%以上にする。
(5-2 健康教育・食育の推進)

【学びを支える教育環境の充実】

- ゆとりの日を月4回設定、並びに幼稚園閉庁日を夏季休業期間等、長期休業期間中に3日以上設定する。また、教職員アンケート調査で「校務支援システム（SKIP ポータル）校務機能・帳票導入、新ホームページ導入等、ICTを活用した業務について、操作技術が身に付いてきた」という項目について、「そう思う（ややそう思う）」の割合を令和7年度調査において80%以上にする。（7-1 働き方改革の推進）
- 教職員アンケートで、「研修等への参加や、振り返りの機会は、自身の資質向上につながっている」という項目について、「そう思う（ややそう思う）」の割合を令和7年度調査において80%以上にする。（7-2 教員の資質向上・人材の確保）
- 保護者アンケートで、「幼稚園は、教育方針や特色ある園運営についての理解・推進、家庭教育や地域の子育ての支援等に向け、写真や情報誌、ホームページ等で知らせている」という項目について、「そう思う（ややそう思う）」の割合を毎年80%以上にする。（9-1 教育コミュニティづくりの推進）

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- ① 保護者アンケートで、「幼稚園は、お子様が生活の中で安全に過ごそうとする気持ちがもてるように指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合を60%にする。
- ② 保護者アンケートで、「幼稚園は、身の回りの始末や整理整頓をする習慣が身につくような指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合を50%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 保護者アンケートで、「お子様は、様々な活動を通して、自分なりに表現することを楽しんでいますか」という項目について、「そう思う」の割合を60%以上にする。
- ② 保護者アンケートで、「お子様は、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」という項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。
- ③ 保護者アンケートで、「お子様は、基本的な生活習慣が身に付いてきていますか（手洗いや食事等）」の項目について、「そう思う」の割合を50%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 教職員アンケートで、「校務支援システム（SKIP ポータル）校務機能・帳票、新ホームページ等、ICTを活用した業務について、操作技術が身に付き活用している」の項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。
- ② 教職員アンケートで、「研修等への参加や、振り返りの機会は、自身の資質向上につながっている」の項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。
- ③ 保護者アンケートで、「幼稚園は、教育方針や特色ある園運営についての理解・推進、家庭教育や地域の子育ての支援等に向け、写真や情報誌、ホームページ等で知らせている」の項目について、「そう思う」の割合を同程度80%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立愛珠幼稚園 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【安全・安心な教育の推進】 ① 保護者アンケートで、「幼稚園は、お子様が生活の中で安全に過ごそうとする気持ちをもてるように指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合を 60%以上にする。 ② 保護者アンケートで、「幼稚園は、身の回りの始末や整理整頓をする習慣が身につくような指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合を 50%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】 安全に過ごそうとする意識を育てるための指導や環境の工夫をする。 (1-6 安全教育の推進) 指標 ・学校安全計画を見直し、絵本や掲示物などを活用して計画に沿った指導を行う。(年 10 回) ・関係機関と連携した防犯・交通安全指導、保護者への啓発を行う。(関係機関と連携 年 3 回、保護者啓発 年 2 回) ・教職員の安全に関する意識を高める。(学期に 1 回の環境整備、AED 講習) ・保護者アンケートを実施する。(7 月・1 月)	
取組内容②【2 豊かな心の育成】 ものを大切にすることの気持ちを育て、身の回りの始末や整理整頓の習慣が身につくような指導や環境の工夫をする。 (2-1 道徳教育の推進) 指標 ・絵本や紙芝居等視聴覚教材の活用、掲示物など各年齢にあった指導の工夫をする。(年 3 回) ・玩具の扱いやすさ、片付けやすい環境を工夫する。(学期に 2 回) ・保護者アンケートを実施する。(7 月・1 月)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後への改善点	

(様式2)

大阪市立愛珠幼稚園 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ① 保護者アンケートで、「お子様は、様々な活動を通して、自分なりに表現することを楽しんでいますか」という項目について、「そう思う」の割合を60%以上にする。 ② 保護者アンケートで、「お子様は、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」という項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。 ③ 保護者アンケートで、「お子様は、基本的生活習慣が身に付いてきていますか(手洗いや食事等)」の項目について、「そう思う」の割合を50%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【3 幼児教育の推進と質の向上】 音や音楽を通して心を動かし、自分なりに表現することを楽しめるような指導や環境の工夫をする。 (3-1 就学前教育カリキュラム等に基づいた教育の推進)	
指標 ・長期を見通し、つながりのある保育が行えるように指導案の形式を見直して書式や内容を共通し、作成する。(期案: 年8回・週案: 通年) ・体を動かす、かいたりつくったりする、歌や楽器遊び・劇遊びをするなど、各行事を窓口とした活動を取り入れる。(年3回) ・保護者や地域への啓発をする。(ホームページへの掲載: 年10回) ・保護者アンケートを実施する。(7月・1月)	
取組内容②【5 健やかな体の育成】 進んで体を動かして遊べるような指導や環境の工夫をする。 (5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進)	
指標 ・存分に体を動かせるような活動を取り入れる。(集会等: 月2回) ・保護者とのふれあい活動を工夫する。(誕生会: 12回) ・歩く機会を増やす。(おさんぽデー: 年3回) ・保護者アンケートを実施する。(7月・1月)	
取組内容③【5 健やかな体の育成】 基本的生活習慣の大切さを知らせ、身につけられるように指導を工夫する。 (5-2 健康教育・食育の推進)	
指標 ・基本的生活習慣に関する指導について年間計画を見直し、保健指導を実施する(年5回) ・保護者啓発をする。(情報誌を発行する: 年5回) ・保護者アンケートを実施する。(7月・1月)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

今後への改善点

大阪市立愛珠幼稚園 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ① 教職員アンケートで、「校務支援システム(SKIP ポータル)校務機能・帳票、新ホームページ等、ICTを活用した業務について、操作技術が身に付き活用している」の項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。 ② 教職員アンケートで、「研修等への参加や、振り返りの機会は、自身の資質向上につながっている」の項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。 ③ 保護者アンケートで、「幼稚園は、教育方針や特色ある園運営についての理解・推進、家庭教育や地域の子育ての支援等に向け、写真や情報誌、ホームページ等で知らせている」の項目について、「そう思う」の割合を80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 負担軽減、業務の効率化や操作技術習得に向けた取組を行う。 (7-1 働き方改革の推進)	
指標 ・ゆとりの日を設定する。(月4回) ・始業日・終業日の弾力的な休業日の運用について取り入れる。 (学期毎年3回) ・校務支援システム、新ホームページ等、ICTを活用し、園内操作研修会を実施するなど、効果的な園運営を工夫する。(年10回) ・教職員アンケートを実施する。(7月・1月)	
取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 研修会や講演会、他園参観等への参加、キャリアステージに応じた指標を用いて自己分析をする。 (7-2 教員の資質向上・人材の確保)	
指標 ・研修会や講演会、他園参観への参加(年10回) ・研修会等の学びを共有する。(資料の配付・報告・回覧等) ・「資質の向上に関する指標」を活用し、各自で振り返りを行う。(学期毎3回) ・教職員アンケートを実施する。(7月・1月)	
取組内容③【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教育方針や特色ある取組について発信方法を工夫する。 (9-1 教育コミュニティづくりの推進)	
指標 ・子どもの生活や活動の様子が分かる写真の即時掲示や掲示方法を工夫する。(年10回) ・園だよりで発信する。(表現を楽しんでいる様子・安全な生活についての取	

組の様子：年10回) ・ホームページを各自月1回程度更新する。(記事の作成、日々の活動の様子、幼稚園だより、保健だより、配布文書の作成など：各自年10回程度) ・保護者アンケートを実施する。(7月・1月)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後への改善点	